

Galaxy Tape Echo

エンドレスでリッチなダブ・スタイルのディレイと日本製スプリング・リバーブ

1973年にRolandはRE-201 Space Echo*を発売しました。— そのテープディレイ/スプリングリバーブは、ウォームで、密度の濃いアナログ・リバーブシステム。繊細なテープ・テクスチャーから存在感のあるサウンドまで、この象徴的なサウンドは、Pink Floyd、David Bowie、そして、ダブのKing Tubby、Scientist、Lee “Scratch” Perryのアルバムで聴くことができます。Galaxy Tape Echo プラグインは、70年代の象徴的なユニットの徹底的なエミュレーションで、ザラついた音、音楽的なワウフラッター、Sci-Fiなピッチシフト、そしてリアルタイムに調整しやすい感動的なハードウェアの物理的な挙動をすべてキャプチャーしています。

新機能:

- ドラム、ボーカル、ギター、シンセにテープディレイやカラフルなノイズを追加
- ディストーション、ワウ、フラッター、ピッチシフトによるオーガニック・タイムベースエフェクト
- クリエイティブな sci-fi テクスチャーのためにワイルドなセルフオシレーション
- 好みのソース上にスプリング・リバーブのきらめきを与える
- プラグインのみの機能: テンポシンク、エフェクト・パン、テープセレクト

スペースを作り出す

Universal Audioは苦心してこの複雑なデバイスの癖や特徴をキャプチャーしました。例えばハードウェアのようにボーカルにキャラクターを加えたり、ドラム・バスにアナログの太さを加えるためにインプットをドライブさせてください。コントロールを微調整して、エレキギターにエネルギーを与える無限のワウフラッターやピッチシフトの組み合わせで活用することができます。ロカビリーのスラップバックから渦巻くようなディレイまで Galaxy Tape Echoは、どんなジャンルのソースにも秘密のエッセンスとなります。

ありのままを — 忠実に再現

Galaxy Tape Echo プラグインは、オリジナルのハードウェアのすべてのコントロールを持ち、モダンなワークフローのためのいくつかの機能を追加しています。様々なヘッドの組み合わせにはモード・セクターを使用し、タイミング・コントロールの微調整にリピート・レート、そしてインテンシティは繰り返し回数を設定します。そしてユニットがセルフオシレーションを可能にします。重要なエコー/ノーマル・スイッチ、または“ダブ”スイッチが含まれ、グローバルなベースとトレブルが、好みに応じてエフェクトを成熟させるためにテープ・エコーに応じてシグナルをミュートします。新しい“プラグインのみ”の機能は、テンポシンク、リバーブとディレイに独立したパン・コントロール、ディレイの音色を変更するためにテープを選択(new、used、old)することができます。オリジナルの奇抜さをすべてキャプチャーし、さらに強化されたことで Galaxy Tape Echo プラグインは、無限のクリエイティビティを手に入れました。

*Galaxy Tape Echoは、Roland、BOSSとの提携、エンドースなどは受けていません。RolandとBOSSの名称だけでなく、CE-1とChorus Ensembleモデルの名称はUniversal Audioの製品でエミュレーションを行なうクラシック・エフェクトを識別する目的にのみ使用されます。



Galaxy Tape Echo インターフェイス

Galaxy Tape Echo のコントロール

以下の機能がデジタルのみとしてプラグインに含まれています。:

- マイクとインストゥルメント・ボリュームは、1つのインプットにまとめられました。
- 新旧のテープのエミュレートを行うテープエイジ・スイッチを追加
- AUXバス、 SEND/リターンで使用するためのウェットソロ・コントロール
- ユーティリティ性の高いアウトプット・ボリューム
- エコーとリバーブに個別のパン・コントロール
- 自由にテープの接合をトリガーするためのスプライス・スイッチ
- エフェクトを DAW のテンポに同期させることが可能

ピーク・レベル

ピーク・ランプはトランジェント・シグナルのピークやクリッピングがインプットボリューム・コントロール以降に検出されると点灯します。-2 dB~-1.5 dB の間で明るくなり始め、レベルが大きくなるにつれ、明るくなります。

インプット・ボリューム

プラグインにインプットされるシグナル・レベルを設定します。ユニティ・ゲインは 12 時の位置にあります。

オリジナル・ハードウェアのようにプラグインのインプットでのクリッピング・ディストーションは、エコーやリバーブのトーンに影響を与えます。クリッピングをエフェクトの一部として使用する場合があります。クリッピングは、ユニティ・ゲイン位置で簡単に得ることもできます。しかし、クリーンなサウンドを得たい場合、インプット・ボリュームを下げ、下がった分を補正するためにアウトプット・ボリュームを上げてください。

ヘッド・セレクト

Galaxy Tape Echo には、テープ・エコーとスプリング・リバーブ・エフェクトが含まれています。使用するエフェクトは、ヘッドセレクト・ノブで選択することができます。

ヒント: Galaxy Tape Echo は、UAD Meter & Control Panel アプリケーションのコンフィグレーション・パネルで DSP ロードロックをオフにしている場合、リバーブ、またはエコー・モードのどちらか片方を使用する場合より、両方のモードを同時に使う場合の方が、DSP 使用率は高まります。

オリジナルのハードウェアは、3 基のテーププレーバック・ヘッドを搭載しています。ヘッドの組み合わせや位置を変更することで合計で 12 種類のエコー/リバーブ・モードを得ることができます(4 エコー、1 リバーブ、7 エコー+リバーブ)。すべてのモードはプラグインで忠実に再生されます。

ヘッドセレクト・ノブポジション

各ヘッドセレクト・ノブの位置によるテープヘッドとリバーブ・モードについて以下の表記記載しています。黒い点は、ヘッドの位置を示し、リバーブは、そのノブの位置でアクティブになります。

ノブの位置 >>	ECHO				REVERB ECHO							REVERB	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	Reverb	
アクティブな テープヘッド	1	•				•			•		•	•	(N/A)
	2		•		•		•		•	•		•	
	3			•	•			•		•	•	•	
リバーブ					•	•	•	•	•	•	•	•	•

エコーレート

エコー・エフェクトのディレイ・タイムをコントロールします。ディレイ・タイムを増やすには、ノブを反時計回りに回し、減らすには時計回りに回してください。

使用可能なディレイ・タイムは以下の通りです。:

- **Head 1:** 69 ms ~ 177 ms
- **Head 2:** 131 ms ~ 337 ms
- **Head 3:** 189 ms ~ 489 ms

このノブで設定可能なディレイ・タイムは、ヘッドセレクト・ノブの値によって変わります。このコントロールは、オリジナルのハードウェアと同様にテープキャプスタン・モーターを操作することによってリアルタイムにテープの再生速度を変更し、音楽的な効果“ランプ・アップ”、“ランプ・ダウン”エフェクトが得られます。

テンポシンクを使用すると、このコントロールはリーディング・ヘッドでクオンタイズされたリズムミックな効果を得ることができます。

フィードバック

このノブは、エコー・シグナルのリピート・レベルをコントロールします。エコーのリピート数を増やすにはノブを時計回りに回してください。値が大きいほどセルフオシレーションを起こします。

Galaxy Tape Echo のセルフオシレーションは、多くのミックス・ツールよりも魔法のような機能の 1 つです。それは楽器としてプレーすることができます。ホールドされたノートの上でユニットに穏やかなオシレーションをもたらし、エフェクトを微妙に使用することができます。または、極端なフィードバック・セッティングによって派手なオシレーションを起こすことができます。異なるヘッドのセレクトによってオシレーションの質が異なります。シングルヘッド・モードは、シンプルなオシレーションを作り出す傾向があり、複数のヘッド・モードでは、より複雑なオシレーションになります。

Galaxy Tape Echo のオシレーションは、プログラムやコントロールの状況に依存します。オーディオ、ゲイン、トーン、エコーレート、テープ・セッティングの違いによって、オシレーションの質は異なります。Galaxy Tape Echo はシグナル無しでもオシレーションを生成することができる本当にユニークなインストゥルメント・プラグインだと言えます。

トレブル

テープ・エコー成分の高周波数域レスポンスをコントロールします。これはドライ・シグナル、リバーブ成分には影響を与えません。ブースト/カット・コントロールで、ノブが 12 時の位置では影響を与えません。

ベース

テープ・エコー成分の低周波数域レスポンスをコントロールします。これはドライ・シグナル、リバーブ成分には影響を与えません。ブースト/カット・コントロールで、ノブが 12 時の位置では影響を与えません。

エコー・パン

モノイン/ステレオアウト、またはステレオイン/ステレオアウトで使用されている時にステレオ・アウトプットでのエコー成分のパンをコントロールします。

注: このコントロールは、モノイン/モノアウトで使用されている場合には無効になります。

エコー・ボリューム

エコー・エフェクトのボリュームを設定します。エコーを大きくするには、ノブを時計回りに回転させてください。最小値に設定するとエコー・エフェクトは聴こえなくなります。

注: ヘッドセレクトで、“REVERB ONLY”の位置にある場合、エコー・ボリュームは効果がありません。

リバーブ・パン

モノイン/ステレオアウト、またはステレオイン/ステレオアウトで使用されている時にステレオ・アウトプットでのリバーブ成分のパンをコントロールします。

注: このコントロールは、モノイン/モノアウトで使用されている場合には無効になります。

リバーブ・ボリューム

スプリング・リバーブのボリュームを設定します。リバーブを大きくするには、ノブを時計回りに回転させてください。最小値に設定するとリバーブ・エフェクトは聴こえなくなります。

オリジナルのハードウェアでのリバーブ・アウトプットが非常に低く、いくつかのソースにとっては、高いノイズフロアで使用しにくい場合があります。プラグイン・モデルのスプリング・リバーブにはノイズがなく、使い勝手が良くなるようにアウトプット・レベルも向上しています。

注: ヘッドセレクトノブが 1~4 の位置にある場合、リバーブ・ボリュームは効果がありません。

インプット・センド

MUTE に設定すると、プロセッサのエコー部分に送られるシグナルを無効にします。このコントロールは、愛情を込めて“ダブ”スイッチとも呼ばれ、エコー・エフェクトをオートメーションするために使用されることもあります。

注: ヘッドセレクト・ノブがリバーブのみに設定されている場合、このスイッチは効果がありません。

ディレイタイム・ディスプレイ

LED スタイルのディスプレイは、Galaxy Tape Echo の現在のディレイタイムを表示します。3 基のディスプレイは、3 つのテープヘッドに対応しています。テープヘッド間の距離が固定されているので、ディレイタイムは常に互いの比例関係を維持します。

テンポシンクがオンの場合、ビート値が表示されますが、オフ時には、ディレイタイム値が mSec で表示されます。特定のヘッドが使われていない場合 (**ヘッドセレクト・ノブ**を参照)、ダッシュが表示されます。

テンポシンクがオンの場合、テンポに合わせて値が点滅します。ヘッドの間隔が不正確で表示の範囲外にある場合、値の前に“+”または“-”が表記されます。

テンポ・シンク

ホスト DAW アプリケーションのテンポにディレイタイムをいシンク(同期)させる場合にこのスイッチをオンにしてください。関連した情報を得るには、UAD システム。マニュアルの“テンポシンク”を参照してください。

テープ・ループ

スプライス

スイッチを動かすと、テープの接合部の位置をリセットします。

通常、テープ・ループ(テープの両端)の接合部は、定期的に回ってきます。この感覚は、エコーの値によって決まります。テープの経過年数に応じてスプライスの効果を微妙～明白に調整することができ、セルフオシレーション時には、カオス状態を演出するために使用することができます。

スプライスは、モメンタリー・スイッチを最小しており、必要な時にスイッチを動かすと新しいスライス・ポイントを得るためのトリガーとして動作します。

スプライスの効果はすぐに現れないことに注意してください。これはライトヘッドにドロップし、その後にリードヘッドに向かい(この時点でドロップアウトがあります)、その後テープキャプスタン(ここではワウフラッターが発生)に向かう時間が必要になります。

テープ・エイジ

オリジナルのハードウェアでテープ・ループは、ユーザによる交換が可能なカートリッジに含まれています。テープの摩耗が進むと忠実度が低くなり、ワウ/フラッターが増加します。テープエイジ・スイッチによって、新品、古い、オールドの3系統のテープの使い分けが可能です。

古いテープでは、より多くのキャラクターが得られ、音楽的な素晴らしいカオスをソースに加えることができ、新しいテープは、ナチュラルなボーカル・トラックに最適です。

ウェット・ソロ

オフの場合、ドライ(未処理)シグナルはウェット(処理後)シグナルとミックスしてアウトプットされます。オンの場合、処理されたシグナルのみをアウトプットします。

ウェット・ソロは、チャンネルセンドで使用するために AUX グループ/バス上で使用する際にウェット・ソロは最適です。チャンネル・インサート上で使用する場合、このコントロールは一般的にオフで使用してください。

注: ウェット・ソロはインスタンスごとのグローバル・コントロールです。

アウトプット・ボリューム

プラグインのアウトプット・ボリュームをコントロールします。これはドライとエフェクト・シグナルを同時にコントロールします。

コントロールの範囲は、ユニティ・ゲインから±20 dB です。最小値に設定されている場合でも多少のシグナルが聞こえる場合があります。

VU メーター

VU メーターは、テープにレコーディングされたアベレージ・シグナルを示しています。ピークレベル・ライトと組み合わせて使用することでシグナル・レベルの表示を推測することができます。

これは本質的にインプット・メーターであるため、インプットセンド・スイッチをエコーからミュート変更すると反応しません。

注: ピーク・ランプと VU メーターは、インプットボリューム・コントロール直後のシグナルを量ります。しかし、オリジナルのハードウェアと同様にエコー・フィードバックは、レベルディテクション・サーキットの前で適用されます。この理由から、フィードバック・コントロールは、レベルの表示に影響を与えます。

パワー

プロセッシング前後のシグナルを比較するためにプラグインをバイパスすることができます。オンではエフェクトがかかっており、オフではプロセッシングされていないシグナルが聞こえます。

UAD Meter & Control Panel アプリケーションのコンフィグレーション・パネルで UAD ロードロックがオフになっている場合、パワー・オフにすると UAD-2 DSP 使用率は軽減されます。

ヒント: パワースイッチを切り替えると、テープ・エコーをクリアします。Galaxy Tape Echo がセルフオシレーションを起こし、フィードバック・ループをリスタートしたい場合、この方法が役に立ちます。

*Galaxy Tape Echo は、Roland、BOSS との提携、エンドースなどは受けていません。Roland と BOSS の名称だけでなく、CE-1 と Chorus Ensemble モデルの名称は Universal Audio の製品でエミュレーションを行なうクラシック・エフェクトを識別する目的にのみ使用されます。